

「じんぶん館」オープンしました！



町営塾と久米島高校への離島留学生用宿泊施設を兼ね備えた、交流学习センター「じんぶん館」が開所しました。4月4日に行われた開所式では、内閣府、沖縄県からも来賓を迎え、島尻安伊子内閣府特命担当大臣、翁長雄志沖縄県知事の祝辞が代読にて披露されました。島尻大臣からは「一括交付金によりこうした施設が完成するのは、久米島町が初めての事例となります。離島留学生の受け入れ体制が十分に整うことで、久米島町の定住人口の拡大や島の活性化につながっていくことを期待しております」との言葉が寄せられました。

6日には寮生活を送る1年生から3年生までの計13人が揃い、新生活をスタート。7日からは町営塾「久米島学習センター」の授業も始まり、新施設に活気が出てきました。

「じんぶん館」は、1階が町営塾と寮生用食堂、2・3階がそれぞれ男子・女子の宿泊棟となっています。寮室は4人部屋で、最大24人まで受け入れることができます。またハウスマスターと呼ばれるスタッフ2人が常駐し、生徒たちの高校生活をサポートします。

島での新生活!!



笠原 淳くん
(東京都出身、園芸科1年)

僕の高校生活の目標は、野球で甲子園に行くことです。寮では、同級生や先輩と気軽に話せて楽しいです。

野球が忙しくなりそうですが、少しの時間でも塾に行けたらいいなと思っています！

私たちがハウスマスターです！

ハウスマスターは、寮生の健康・安全を守ると同時に、一人ひとりの成長を支える伴走者です。困ったときに相談を受けるのはもちろん、寮生が挑戦してみたかったことを全力で応援します。



中野 友美子さん



山口 智子さん